

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		男女共同参画の推進			款	3	項	1	目	1	事業	14	整理番号	63			
担当部課名		区民生活部文化・交流課			係名	男女共同参画推進担当			連絡先電話番号	2293			昨年度整理番号	105 枝番号			
上位施策No・施策名		69 男女共同参画社会に向けた環境整備			予算事業区分												
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	3	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	4	事業コード	7	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区民、職員、各主管課				根拠法令等		(1) 男女共同参画社会基本法 (2) 杉並区男女共同参画推進懇談会設置要綱									
	事業の目標	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 男女平等や男女共同参画についての理解を深めます。 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画を着実に実行します。				活動指標名(式)		(1) 男女共同参画推進区民懇談会の開催回数 (2) 啓発品作成数									
	活動内容	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」の策定、推進 区民懇談会で男女共同参画について区民意見集約 杉並区行動計画推進状況の調査				成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 審議会等における女性委員の登用数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 啓発品配布数 算定式・指標の説明等									
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度						
指標	活動指標(1)		回	10	9	10	12	11	8	10	110.0	91.7					
	活動指標(2)		個	2,000	3,600	1,500	5,000	5,000	5,000	5,000	100.0	100.0					
	成果指標(1)		%	36.6	39.0	37.5	39.0	36.6	40.0	40.0	91.5	93.8					
	成果指標(2)		個	1,250	3,600	1,200	5,000	4,080	5,000	5,000	81.6	81.6					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,186	6,912	4,127	3,984	2,290	2,986	20年度予算執行率% 57.5							
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成20年度は「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」の策定(実計)を行ないました。そのため、区民懇談会を例年より多く開催し、諸経費が増えたために、事業費が大幅増となりました。執行率については、予定していた区民懇談会の委員の欠席、行動計画の印刷費が低く抑えられたことなどにより低くなりました。							
	(内)委託費		千円	0	630	930	126	17	76								
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.87 0.00	1.80 0.00	2.11 0.00	2.11 0.00	2.02 0.00	1.00 0.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	16,942	16,452	19,285	19,096	18,281	9,050								
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0								
	総事業費 + +		千円	20,128	23,364	23,412	23,080	20,571	12,036								
	単位あたりコスト (-)÷		円	2,012,800	2,596,000	2,341,200	1,923,333	1,870,091	1,504,500								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0					0			
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0					0			
都からの補助金等		千円															
その他の補助金等		千円															
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般財源 -		千円	20,128	23,364	23,412	23,080	20,571	12,036									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 63

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単位	事業費(千円)	
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	啓発講座の実施、啓発用品の作成、購入等				641
	男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査	1	回		500
	男女共同参画推進区民懇談会(本会議・推進部会・改定部会)	11	回		979
	全国男女共同参画都市宣言サミット参加				124
	その他(調査研究)				46
(2)事業実績	平成20年度は「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」(平成21年度～22年度)を策定しました。策定にあたっては、区民懇談会本会議を4回、行動計画改定部会を3回、推進会議を4回実施しました。激変する社会情勢を反映するため、昨年度まで5年ごとに策定していた行動計画を2年間の計画に変更し、重点項目を絞った計画とし、わかりやすく、より実効性の高い計画としました。 また、平成20年度も全国男女共同参画都市サミットに参加しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	審議会等における女性委員の登用数 平成4年 25.1% 平成21年 36.6% 区へのDV相談件数 平成12年度 76件 平成20年度 427件
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	男女共同参画は簡単には進まないが、繰り返しPRをしていくことが必要であり、真の男女共同参画社会をめざすため、区役所が見本となってほしいという意見が多くなっています。
	今後の予測	まれにみる不況により雇用環境が悪化しています。失業者が増え、共働きを希望する世帯が増えています。男女を問わず生活を維持していくために、ワーク・ライフ・バランスが重要になっています。また、DVの相談件数は増えていくことが予想されます。基本的人権を守るため、DV対策を考えていく必要があります。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	区の状態を調査研究し、それに基づき区民、団体、職員等に、男女平等に関する意識啓発や情報提供することにより、男女共同参画社会の実現を訴え続けることができます。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	「男女共同参画行動計画」の改定や推進状況調査報告書を策定する際、区民懇談会委員と協力しながら実施していきます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	男女共同参画の推進という事業の性格上、受益者負担は適しません。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	現在、既に必要最低限の経費で行っています。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	区民懇談会に関しては、行動計画の策定にあたり設置した改定部会において、2月から7月まで集中した議論を行い、従来の総花的な計画からワークライフバランスとDVに重点を置いた計画を策定することができました。一方で新行動計画に対するパブリックコメントの反応が4件と区民の方の関心が低い結果となりました。今後、行動計画を含め、男女共同参画社会に向けた取組を広く周知していきます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成21年度は行動計画の改定がないため、事業全体では予算が削減となっています。ただし、企業啓発セミナーを充実し、ワーク・ライフ・バランスをすすめるための講師謝礼等は増額しています。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	男女共同参画は短期間ですぐに効果の見えてくるものではありません。その必要性を繰り返し社会に訴え続けていくことが大切です。「男女共同参画社会をめざす行動計画」の期間である平成22年度までに掲げられた課題の解決に向けて努力し、男女共同参画の実現を進めていきます							
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	不況による社会環境の悪化で、労働強化によりワーク・ライフ・バランスが進めにくくなるのが予想されます。また、生活不安などから人々の精神的な負担が大きくなり、DVが増えることも考えられます。不況下でもワーク・ライフ・バランスは必要な旨の啓発、DV防止に対する社会的啓発を進めていきます。								
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増 ● 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし							
	(2) 理由	22年度は「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」(平成21年度～22年度)の改定年度にあたるため、予算増が見込まれます。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		男女平等推進センターの運営			款	3	項	1	目	1	事業	15	整理番号	64						
担当部課名		区民生活部文化・交流課			係名	男女平等推進センター担当			連絡先電話番号	3794			昨年度整理番号	106						
上位施策No・施策名		69 男女共同参画社会に向けた環境整備			予算事業区分															
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	9	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	4	事業コード	7	<input checked="" type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等		(1) 杉並区立男女平等推進センター条例 (2) 杉並区立男女平等推進センター登録団体使用取扱要綱												
	事業の目標	区内在住・在勤・在学者、区内女性団体・グループ、男女平等推進センターを利用する個人・団体				活動指標名(式)		(1) 講座の開催回数 (2) 女性相談の日数												
	活動内容	男女共同参画社会づくりに関する情報等の提供や、講座等の開催により、意識啓発を図ります。女性団体等が講座等の企画運営に携わることにより、積極的な地域活動や団体育成を促進します。女性相談者に対して、問題解決のための適切な指導・助言を行い、快適な生活を送るための手助けをしていきます。				成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民向け啓発講座受講者の延べ人数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 配偶者等からの暴力についての相談件数 算定式・指標の説明等												
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%							
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度							
指標	活動指標(1)		回	36	15	9	15	9	15	15	15	60.0	60.0							
	活動指標(2)		日	241	304	304	305	305	305	305	306	99.7	100.0							
	成果指標(1)		人	853	300	208	300	321	300	350	91.7	107.0								
	成果指標(2)		件	225	250	262	250	355	250	350	101.4	142.0								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,656	28,375	25,223	27,772	23,809	23,115	20年度予算執行率% 85.7										
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0				特記事項										
	(内)委託費		千円	4,220	22,348	21,099	22,484	20,598	18,306	年間5テーマ×3回の講座委託を予定していますが、講座の実施が予定より少なかったため、執行率が低くなりました。										
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.00 4.00	2.00 0.00	1.30 0.00	1.00 0.00	1.04 0.00	1.00											
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	27,180	18,280	11,882	9,050	9,412	9,050											
		(内)非常勤職員分	千円	11,320	0	0	0	0	0											
	総事業費 + +		千円	52,156	46,655	37,105	36,822	33,221	32,165											
	単位あたりコスト (-)÷		円	1,448,778	3,110,333	4,122,778	2,454,800	3,691,222	2,144,333											
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0										
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0										
都からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/												
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/												
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0												
差引:一般財源 -		千円	52,156	46,655	37,105	36,822	33,221	32,165												
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0												

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 64

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		相談業務委託			
		施設保守管理委託			5,419
		講座の開催	5	講座	737
		情報誌発行	2	回	458
		その他 ()			2,969
(2)事業実績	20年度、委託講座は区民向け啓発講座4テーマ、8回の講座を実施しました。委託講座は区民の男女共同参画意識向上のみならず、受託し、企画・運営する団体の育成という意味もあります。また、共催講座としては東京しごと財団との共催で女性の就職活動に関する講座を実施しましたが、大変に好評でした。今後は東京しごと財団のほか、子ども家庭支援センターとも共催する形で継続して実施していく予定です。相談業務は土・日も実施しており、不安を抱える女性たちの身近な相談窓口となっています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	審議会等における女性委員の登用数 平成4年 25.1% 平成21年 36.6% 区へのDV相談件数 平成12年度 76件 平成20年度 427件			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設が最寄駅から離れていることから、交通の便が悪いことについての要望が寄せられています。			
	今後の予測	社会情勢反映して就職活動やワーク・ライフ・バランス、子育てとの両立支援などをテーマとした講座に関心が寄せられることと思われます。また、DVなどの深刻な相談が増えていくことが予想されます。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	左の理由または具体的内容 男女共同参画の実現に向けて、講座等による啓発、情報の提供、団体活動への支援等が必要である。女性相談については、多岐にわたる内容に専門の相談員が助言・指導を行い女性の悩みごとの解決に貢献しています。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	講座等の事業については、区民・団体等との協働により、引き続き実施していきます。専門の相談機関に委託したことにより、資質の高い相談員を配置し、専門性の高い相談業務を継続していきます。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	事業の性質から、受益者負担は困難です。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	平成21年度に向けて、相談事業の見直しを行いました。(委託費削減のため)			
	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続				
評価と課題	講座に対する受講者の満足度は高く、一定の受講層は定着しています。一方講座の実施について、団体への委託で実施するなどしていましたが、本数が計画値に満たないため、今後は講座の企画・運営を公募する方式に改めてまいります。 また相談件数が、目標値に比して大きく減少していますが、継続相談も含め、効率的で質の高い相談態勢への改善に取り組みます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	女性相談の体制を見直し、委託先のNPO法人との協議を重ね、21年度の委託費予算を大幅削減しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 21年度から女性相談の体制を、平日の4時以降、土・日の相談員の配置を1人体制にするなどして効率化をしています。図書コーナーや交流コーナーのPRに努め、利用率を向上させていきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	立地の悪さから利用率が伸び悩んでいます。広報によるPRのほか、区民向け講座の会場にするなどして、より多くの区民への周知を図るようにしていきます。							
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	21年度で業務の見直しをし、相談業務委託費の大幅削減をしています。予算の効率的な執行に努めていきます。							